

令和2年度 吉川市立美南小学校 学校公開用

この学校評価は、学校の現状やこれまでの努力とその結果を公表し、家庭・地域にお知らせするとともに、今後の取り組みに向けて家庭・地域の理解や連携協力をお願いするものです。

No.	質 問 項 目	自己 評価	自己評価についての 評価の説明及び学校の考え	学校関係 者評価	評価に対する学校の説明・考察
1	学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	A	状況を適切に判断し、様々な制限を考慮して学校教育目標「自ら考え、進んで行動する児童の育成」の実現に向け、全教職員の熱意、誠意、創意を結集し意欲あふれる子どもがはぐまれる学校づくりを推進するよう努めていく。	A	・コロナ禍の中、学校公開、運動会、校外学習、日帰り修学旅行等様々な取り組みを通して自ら考え進んで行動する児童の実現に向けての工夫や努力を感じる。
2	学校は、児童生徒の学習環境の整備に努めている。	A	安心・安全・快適・衛生面を重視した学習環境づくりの視点に立ち、毎日の消毒、日々の安全点検を全職員で行っている。不具合箇所については、その都度改善を図っている。今後も、備品・教材教具の補充に努め、学習環境の整備を図っていく。	A	・コロナ感染拡大防止に配慮した環境づくりを実践し、それを児童に日々の意識や行動に根付かせていく指導がなされている。（机の配置や換気、清掃の仕方、校庭利用の配慮等）
3	校長を中心として、全職員が協力して児童生徒のために努力している。	A	校長の学校経営方針、教育指導の重点・努力点を職員会議等を通して、全職員が共通理解を図り、日々努力していく。また、校長のリーダーシップの下「報告・連絡・相談・記録・確認」がしやすい職場環境づくりができていく。	A	・校長先生の舵取りもと、先生方がそれぞれの立場で児童を見守り導き、学校全体で一丸となって向き合ってくださっている。
4	学校は、保護者や地域に学校行事や授業を公開している。	A	様々な制限がある中、衛生対策や社会情勢を見極めながら適切に学校公開を実施した。今後も学校の教育活動や特色をより理解していただくため、状況を判断しながら公開方法の工夫改善に努め、取り組みについて積極的に公開していく。	A	・コロナ禍で厳しい折にも学校公開や持久走記録会等で最新の注意を払いながら公開しています。 ・時間差や日をずらしての工夫などがされていてとてもありがたいです。
5	学校は、学校の様子や成果を「学校だより・学年だより」等を活用し、情報提供している。	A	学校内外の教育活動について、幅広い視点で情報提供を行い、広報活動を進めている。今年度はコロナウイルスの影響もあり、学校における感染症予防対策を踏まえた工夫ある学校行事の紹介を中心に行った。また、ホームページの更新を定期的に行い、たくさんの方々にご覧いただいている。	A	・学校だよりやHPを通して限られたスペースの中で学校の教育姿勢や児童の様子、行事等の情報提供されている。校長先生の毎月の一言発信はとてもよい。
6	学校は、保護者や地域からの相談や要望に応えている。	A	保護者等からの相談や要望については、管理職、関係教職員との情報の共有と連携により、現状と課題の把握や解決策の考案に努め、個に応じた誠意ある早期対応を心がけている。	A	・通学班のことなどとてもよく対応してくださっております。 ・子供体験活動にも最大限での助力をいただいております、大変感謝している。
7	児童生徒は、落ち着いた学習に取り組む、学習内容を理解しようとしている。	A	全ての学級において、ユニバーサルデザイン化の視点を取り入れ、理解しやすい学習環境を整備したため、落ち着いた学習に取り組める児童の向上を図った。学習内容の定着には個人差が見られるため、家庭の協力も得ながら、今後も引き続き取り組んでいく。	A	・授業公開を見させていただき、子供たちは真摯に勉強に取り組んでおり、先生方も熱心に指導されている。 ・学習規律が各学年ごとに指導されていると感じる。高学年になるほど主体的・能動的に学習意欲が育っていると思う。
8	学校は、教材や指導方法を工夫し、児童生徒にわかりやすい授業を心がけている。	A	若手教員が多い中、学年内で指導方法等話し合い、同歩調で学級経営や教材研究を行っている。また、学習指導に必要な教材・教具の充実を図り、引き続き誰にでもわかりやすい授業（ユニバーサルデザイン化）に心がけるとともに、学習の基本となる規律ある態度を育成していく。	A	・授業参観時の基礎基本の定着に向けた指導方法の工夫を感じた。よい所をしっかりとほめて、自己肯定感をもたせる工夫や努力を感じる。 ・ユニバーサルデザイン化された授業を意識している。
9	学校は、児童生徒の行動や能力を適切に評価している。	A	評価規準に基づき、児童一人一人のよさを認め、伸ばす評価を実施している。少人数指導の充実を図り、複数の教員の視点で、児童を多面的に見る機会を積極的に設けていく。	A	・テストの点数や作品の出来栄だけでなく、学習意欲や学習の過程の評価もしっかりやっていると感じている。 ・授業公開を見させていただき、子供たちは真摯に勉強に取り組んでおり、先生方も熱心に指導されている。
10	児童生徒は、進んであいさつをしたり正しい言葉づかいをしたりすることができる。	A	あいさつができる児童の育成は、本校の重要課題である。「あいさつ運動」や「クラスのあいさつ名人の紹介」等により、進んであいさつができる児童を育成してきた。今後も、家庭との連携を図った取組を充実させていく。	A	・子供たちは校内やその他の場所でもすれ違う際に気持ちよく挨拶してくれている。 ・年々気持ちのよい挨拶ができる児童が増えてきている。また、言葉遣いも丁寧に話してくれる児童が多い。
11	児童生徒は、学習のルールや生活の決まりを守ることができる。	A	学年の発達段階に応じた望ましい学習習慣や生活習慣（特に安全な廊下歩行、学習用具の準備）の定着に向け、教職員間の共通理解、共通行動及び指導を深め、学校全体での指導を強化していく。	A	・校内での決まりはよく守れていると思う。 ・マンモス校であるが学年全体が静かであり、学習のルール、生活の決まりが守られていると思う。
12	児童生徒は、時間を守ることができる。	A	児童一人一人は、朝の活動や集会、授業の開始時刻を意識して学校生活を過ごしている。特に学校全体が一同に会する集会は、必ず時間通りに始まっている。今後も、引き続き授業の開始時刻を守ることを徹底させていく。	A	・大半の児童は登校班の時間通りに集合でき、時間内に投稿できている。 ・いつもと異なる集合時間においても早めに集合できる子供たちは素晴らしいと思う。
13	学校は、規範意識を高めるための指導に取り組んでいる。	A	生徒指導部で年間の生活目標を立案し、学年ごとに具体的な手立てを考え、実践している。評価は学年の発達段階に応じて行い、必要に応じて、繰り返し指導を行っている。今後も全教職員の共通理解に基づく生徒指導を推進していく。	A	・高学年が低学年の見本となる様な言動をしているのは先生方の指導のおかげだと思う。 ・相手に向けた思いやりが学年が上がるごとに身につけている。
14	児童生徒は、体育の授業や部活動又は外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	楽しく運動に取り組めるよう、日々の体育の授業の充実にも努めている。今年度は市の体力向上委嘱を受け、体育授業をはじめ、外遊びの充実や朝マラソン、体育朝会や昼休みを効果的に活用し、体力の向上と運動好きな児童の育成を目指した結果、新体力テストの数値も向上した。	A	・今年の学校が置かれている状況下の中では、制限されることが多かったと思うが、やはり1年前から比べると外遊びは格段に少ないと感じる。
15	児童生徒が、健康な生活を送れるよう食育に取り組んでいる。	A	「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」というテーマのもと全校児童に呼びかけ、実践している。食育については、給食センター所属の栄養教諭と連携し、食の大切さについて学習するとともに、「もりもり給食週間」の実施により、食への関心を高めた。	A	・給食で残量を減らし、食材を大切にすることが継続していただきた。 ・もりもり給食習慣や食育の授業は食に関して感謝の気持ちを学ぶ機会となり、継続していただきた。
16	学校は、児童生徒の健康・安全や体力向上に向けた取り組みを行っている。	A	増加する児童数に対応し、年間を通して、計画的に体育的行事や体育的活動に取り組む、全校児童の体力向上に努めた。登校指導や一斉下校などの充実、保健だよりの発行や呼びかけを行い成果があがっている。	A	・運動会・校内持久走記録会など開催自体が難しい状況でもしっかりと開催していただけたことが大変うれしい。 ・運動スペースが限られる中、体力向上に努力する様子が感じられる。
17	学校は、児童生徒の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切にしている。	A	毎月の生徒指導・教育相談部会等での情報交換により、児童の実態を詳細に把握し、共通理解を図った。保護者の思いや願いを聴く機会を、随時の教育相談、個別面談等で設定している。	A	・学校生活の中で一人一人が主役になれる機会づくりを目指して日々指導されていると感じる。掲げた目標を力を合わせてやり遂げる思いが込められた掲示物素晴らしい。（5年生の学年掲示物）
18	学校は、いじめや不登校をなくすため、児童生徒への指導の充実を図っている。	A	日常生活をよく観察するとともに、「なかよしアンケート」を毎月実施し、問題行動の早期発見に努めている。また「報告・連絡・相談・確認・記録」を全教職員の合言葉に、組織的に教育相談的対応を行い、早期解決に努めている。	A	・教室に入れない児童を別室で支援するなどの不登校対策や道徳教育の充実等のいじめ対策を行っている。 ・先生方がすぐにその場で注意やお話をしてくれているようです。とても素晴らしいと思います。